

# 武井新生徒会が始動

## 「意見箱の運用を円滑に」



新生徒会長の武井くん

6月10日に生徒会長選挙が行なわれた。立候補者が武井海導歩くん(2の7)のみであったため、昨年と同じく、今回も信任投票という形式となった。武井くんは545票を獲得し、生徒会長に就任した。125期生徒会は、副会長に増田秀弥くん(2の1)、大塚翼くん(2の3)の

2人を据えて、会計、デジタ、外交、交通、式典、環境部活の合計7つの課から構成されている。新生徒会長の武井くんに話を聞いた。

生徒会長に立候補した理由は、「私が1年生のとき、木暮前生徒会長と一緒に働く機会が多く、学校をより良くしようとする彼に憧れ、自分もその姿勢を見習おうと思ったからだ」と答えた。

木暮前生徒会長については、「一所懸命に働いていて、素

# 文化部5部門に出場へ ぎふ総文にかける思い

第48回全国高等学校総合文化祭(以下、ぎふ総文)は、7月31日から8月5日にかけて、岐阜県内の各地で行なわれる。高崎からも多くの文化部の出場が決定している。今回は、各部の出場者にぎふ総文に対する思いを聞いた。

将棋部門に出場する矢内悠翔くん(3の4)にぎふ総文の目標について聞くと、「昨年は、決勝トーナメントの初戦で敗退してしまったので、今年は上位8位になれるように頑張りたい」と話した。

文藝部門に参加する植原拓都くん(3の1)は、弁論の際に工夫したいことについて、「昨年は、原稿を覚えることに時間がかかり、ジェスチャーが足りなかった。そのため、今年は積極的にジェスチャーを取り入れていきたい」と思いを口にした。

新聞部門には、新聞部が参加する。歴史的文化的財が多い岐阜県東美濃の取材を通して、オリジナルの新聞を作成するほか、全国の高校生との交流が行なわれる。

意見箱を設置し、学校を改善するための意見や考えを生徒が自由に提案できるようにするつもりだ。意見箱のシステムの改良に取り組み、円滑な運用を実現したい」と意気込んだ。

現在の意見箱の状況については、「今設置されているのは生徒会室前のものだけだが、各教室に1つずつ設置することや、グループフォームでの意見の提出なども考えている。提出方法は、記入用紙が完成するまでは白紙に記入して、意見箱に投函してもらっている。提案の場合、プレゼンテーションをしてもらうつもりであるため、記入事項はプレゼンテーションの場所と日時、主な提案の内容の3つとなっている。そして、プレゼンテーションを聞いた生徒会役員が納得した場合、先生方へ交渉に入るといふ形だ。既に意見が3件提出されている。提案や考えがある人は、ぜひ意見箱を利用してほしい」と述べた。

(木村)

7月7日に、東京都知事選挙の投票が行なわれた。今回の選挙は候補者の開示が6月20日に告示され、出馬したのは現職の小池百合子氏や元参議院議員の蓮舫氏、元安芸高田市市長の石丸伸二氏など、候補者の総数は過去最大の56名であった。今回の選挙で当選したのは小池氏で、約291万票を獲得し、3選を果たした。

風の中で、都議補選で勝利するために小池氏の知名度が欲しかった自民党と、都知事選での勝利を欲していた小池氏が協力関係を築いたのではないかと、ということだ。

候補者の開示当初に、小池氏とともに注目されていた蓮舫氏だが、

はそれぞれ約128万票と約165万票で、候補者の開示当初に予想されていた結果とは逆となった。得票数2位となった石丸氏が、候補者の開示当初に注目されていた理由として、「政党に所属しない石丸氏には組織票が見込

丸氏は今回の都知事選で、1日10か所以上の街頭演説後、自身のYouTubeチャンネルにおいて、高い頻度で配信を行なっていた。さらに自身の街頭演説の様子を撮影しての配信や切り抜き、SNSでの使用を許可し、積極的なSNSへの投稿を呼びかけていた。その結果、石丸氏の都知事選のYouTube関連動画の総視聴数は、小池氏の9054万3653回を超える、1億5402万271回であった。

小池氏や蓮舫氏と違い、組織票が見込まれなかった石丸氏だったが、得票数2位という結果を残した。石丸氏が着目した現代社会がもつSNSの力は、これまでの選挙の概念を覆すものなのではないだろうか。

策は現在模索中だ。他にも、グループチャットの使用の是非や、トイレの臭いによる生理的被害など、問題は多い。それらの解決と並行して、公約で掲げた意見箱を活用する計画も進めていきたい。生徒会長としての目標は、公的な場での言動に気を配り、生徒からの信頼を勝ち取ることだ」と語った。

また、「演説で述べた通り、

意見箱の設置し、学校を改善するための意見や考えを生徒が自由に提案できるようにするつもりだ。意見箱のシステムの改良に取り組み、円滑な運用を実現したい」と意気込んだ。

現在の意見箱の状況については、「今設置されているのは生徒会室前のものだけだが、各教室に1つずつ設置することや、グループフォームでの意見の提出なども考えている。提出方法は、記入用紙が完成するまでは白紙に記入して、意見箱に投函してもらっている。提案の場合、プレゼンテーションをしてもらうつもりであるため、記入事項はプレゼンテーションの場所と日時、主な提案の内容の3つとなっている。そして、プレゼンテーションを聞いた生徒会役員が納得した場合、先生方へ交渉に入るといふ形だ。既に意見が3件提出されている。提案や考えがある人は、ぜひ意見箱を利用してほしい」と述べた。

(荻野)



## SNSがもたらす 選挙への影響

小池氏の当選には、約100万の「組織票」が影響していると考えられている。組織票とは、組織(政党支援団体等)が1人の候補者に対してまとまって入れる票のことだ。現在裏金問題で逆風を受けている自民党は、都知事選と同じに行なわれた東京都議会議員の補欠選挙で、9選挙区のうち8選挙区に候補者を擁立した。この逆

その理由は小池氏と同様に、「組織票が期待されていた」ためだ。しかし投票率が近づいてくると、それまであまり注目されていなかった石丸氏が躍進を見せた。投票結果、蓮舫氏と石丸氏の得票数

まれなかった」というものがある。そのような中で、石丸氏が見せた選挙後半の躍進については、「YouTubeなどのSNSを利用した宣伝が功を奏したのでは」と各種メディアが報道している。石

丸氏は今回の都知事選で、1日10か所以上の街頭演説後、自身のYouTubeチャンネルにおいて、高い頻度で配信を行なっていた。さらに自身の街頭演説の様子を撮影しての配信や切り抜き、SNSでの使用を許可し、積極的なSNSへの投稿を呼びかけていた。その結果、石丸氏の都知事選のYouTube関連動画の総視聴数は、小池氏の9054万3653回を超える、1億5402万271回であった。

小池氏や蓮舫氏と違い、組織票が見込まれなかった石丸氏だったが、得票数2位という結果を残した。石丸氏が着目した現代社会がもつSNSの力は、これまでの選挙の概念を覆すものなのではないだろうか。

策は現在模索中だ。他にも、グループチャットの使用の是非や、トイレの臭いによる生理的被害など、問題は多い。それらの解決と並行して、公約で掲げた意見箱を活用する計画も進めていきたい。生徒会長としての目標は、公的な場での言動に気を配り、生徒からの信頼を勝ち取ることだ」と語った。

また、「演説で述べた通り、

意見箱を設置し、学校を改善するための意見や考えを生徒が自由に提案できるようにするつもりだ。意見箱のシステムの改良に取り組み、円滑な運用を実現したい」と意気込んだ。

現在の意見箱の状況については、「今設置されているのは生徒会室前のものだけだが、各教室に1つずつ設置することや、グループフォームでの意見の提出なども考えている。提出方法は、記入用紙が完成するまでは白紙に記入して、意見箱に投函してもらっている。提案の場合、プレゼンテーションをしてもらうつもりであるため、記入事項はプレゼンテーションの場所と日時、主な提案の内容の3つとなっている。そして、プレゼンテーションを聞いた生徒会役員が納得した場合、先生方へ交渉に入るといふ形だ。既に意見が3件提出されている。提案や考えがある人は、ぜひ意見箱を利用してほしい」と述べた。

(荻野)

### 第125期生徒会役員名簿

役職名	学籍番号	名前
生徒会長	2720	武井海導歩
副生徒会長	2138	増田秀弥
副生徒会長	2307	大塚翼
会計課長	2521	角田文武
デジタル課長	2525	新谷真雄
外交課長	2434	並木拓斗
外交課長代理	2141	矢部来輝
交通課長	2124	清水孝一
式典準備課長	2144	吉ノ蘭陽向
環境課長	2631	森田悠生
部活動担当課長	2531	三澤洋輝